

今年も図書館をよろしく

## 図書館報



第220 (18-8) 号 (2019.1)

横浜女子短期大学図書館

TEL 045-835-8115 / FAX 045-835-8118

E-mail lib@yokotan.ac.jp

## 選書ツアーへ行ってきました。

11月14日に紀伊國屋書店（コレットマーレ店）、28日に有隣堂（伊勢佐木店）へ行って本を選びました。参加者は1年生4名と2年生2名、実習や授業に役立つ保育の本、絵本などさまざまな分野の本を選びました。新着図書コーナーに展示していますので、利用してください。なお購入に際して、今回も協力会からの補助をいただきました。





# 選書ツアー参加者からのおすすめ

1年 I.M.さん



(ポプラ社)



(KADOKAWA)



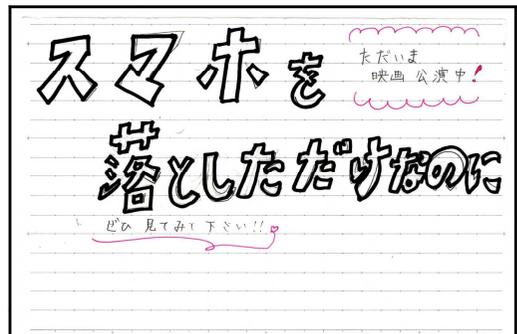
1年 K.A.さん



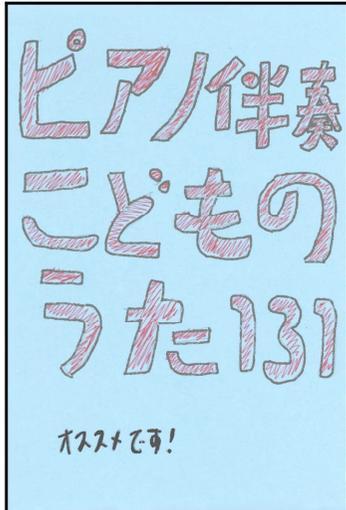
(白泉社)



(宝島社)



1年 N.M.さん



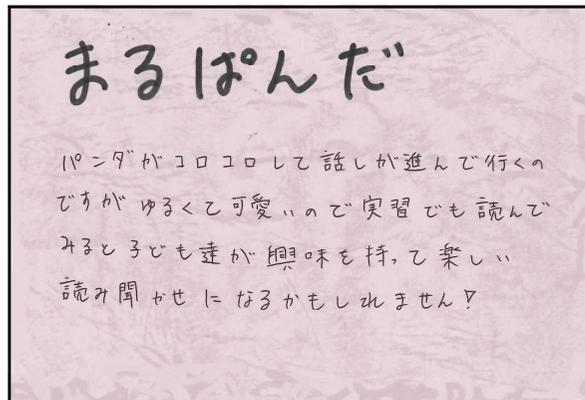
(成美堂出版)



(講談社)



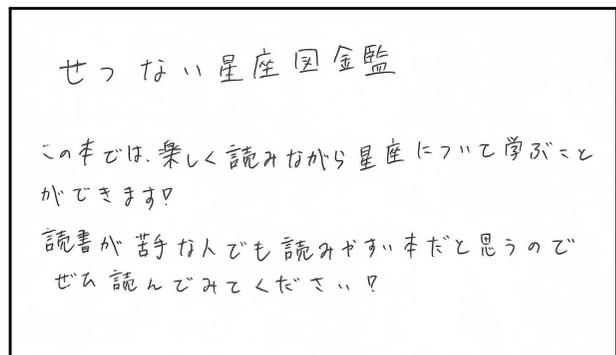
2年 M.S.さん



(PHP 研究所)



(三オブックス)



**絶滅 どうぶつ 図鑑** ぼんて ことば ドードー

拝啓 人類は ぼくたちせうめつほひ

こんは 動物 がいたの!? というおどろき、  
 こんは 理由 で 絶滅 してしまつたの!? というおどろき、  
 たくさんの 絶滅 した 動物 たちが のつて います。  
 いま 生きて いる 動物 たち と 比較 しているのも  
 あり、 大きき ほどが 分かり やすく 読み やすい  
 一冊 に なつて います!




(パルコ)



(白泉社)

**パンのずかん**

パンの好きは パンはあるか??  
 おいしそりほ パンをくまベーカリー  
 くまアムたちが 紹介 してくれます。  
 かんぱんが 失つて いるパン、 世界のパン  
 あれ? これモパン というものが **104** 種類  
 のつて います!

**なんかへんは生きもの**

1度 は 見たことある 動物 の えっ!! という物  
 へん、そうはんだ という 変な  
 生態 が のつて います。  
 絵 が とても かわいいて、  
 かんぱんが 読み やすい 本 です!




(光文社)



(ブティック社)

飾つても、トールに着せてもかわい!

**ディズニーミニチュアドレス**

最近 ディズニーに プリンセスのドレス など  
 着てパ-7に行く人が 増えて います。  
 人が 着るのを つくるのは 楽しいと  
 おんが 作る はらつくれそう! という方  
 ぜひ 借りて みて ください!





## 私たちの好きな絵本



### 『きいろいふくきたサンタさん』 磯田和一作・絵

1年 S.N.



普通のおじさんがサンタさんになるという設定が斬新で面白いです。そして、色々な色のサンタの服を着る場面も見どころです。黄色い服を着て町に出たら、へんな人だと思われて、警察に通報されてしまったけれど、最後はきちんとサンタさんだと分かってもらえてほっとします。面白い絵本なのでぜひ読んでください。

(佼成出版社)



### 『どんなかんじかなあ』 中山千夏ぶん・和田誠え

1年 K.A.

目の見えない人、耳の聞こえない人、家族を亡くした人など、それぞれ相手の立場にたって「どんなかんじなんだろう」と考える絵本です。文章は簡潔にまとめられていて、文字のないページもあり、短いストーリーですが、ゆっくり読んでみると、いろいろ考えさせられます。最後は「ああ、そうだったんだ」と、もう一度読み直してしまいました。この絵本を読んで、まずは身近な人のことを思い、「どんなかんじかなあ」と想像してみることが大切だと思います。

(自由国民社)



### 『くるみわり人形』 E. T. A. ホフマン原作・中井貴恵抄訳・いせひでこ絵

1年 E.M.



この絵本は、チャイコフスキーのバレエで有名な「くるみわり人形」の物語を分かりやすく絵本にしたものです。

クリスマスの日、主人公のマリーは、くるみわり人形をプレゼントにもらったことで、とてもふしぎな体験をします。少しドキドキワクワクするとともに面白い物語です。

(ブロンズ新社)

## 私のオススメの1冊

### 『コーヒーが冷めないうちに』 川口俊和

1年 H.R.

この物語は“フニクリフニクラ”という“過去に戻れる”喫茶店が舞台です。ただし、過去に戻るには沢山のルールがあり、未来は変えることはできません。そんな喫茶店へ後悔を背負った男女4人が訪れてくる物語です。その4人の後悔は解消することができるのか、読者は見守るような立場から徐々に引き込まれて、その人たちの世界に入り込んだように読みい入ると思ます。

私はこの本を読んで、考え方が変わりました。最初は“未来を変えることができないなら過去に戻る意味がない”と思っていました。しかし、過去を変えることができなくても違う結果に満足している登場人物たちの姿に、人間は未来を変えなくても相手の本当の気持ちを知ることによって不安がなくなると気づきました。しかし、現実にはこんな喫茶店はありません。そのため、私は相手に自分の思いを伝えたり、悪く考えるのではなく良い方に考えることが大切だと学びました。

この物語は家族や恋人などの大切さも教えてくれます。そして“4回泣けます”。切ないところもありますが、必ず最後は読者もスッキリした気持ちで読み終えることができると思ます。とてもおすすめです。  
(サンマーク出版)



## 雑誌は最新情報！ 活用しよう

雑誌は、最新の情報を得るための大切なツールです。それは保育の現場でも同じこと。専門雑誌と呼ばれる雑誌には、その分野の今現在、問題になっていること、取り組みなど、タイムリーな情報が満載です。

保育雑誌には、月の行事にあわせた工作や壁面・指導案、園での悩み事相談など実際に保育をするうえで参考になることがたくさん載っています。ぜひ自分の使いやすい雑誌を見つけてください。

図書館には、保育雑誌を複数取りそろえていますので、手に取って活用してください。そして、2年生の皆さんは気に入った雑誌を、卒業後1年間、お給料で購読してみてください。いろいろと役立つことがありますよ。



## 参考図書を紹介します



伊藤守 [ほか] 編『コミュニティ事典』春風社 2017



コミュニティという言葉は、地域社会だけではなくいろいろな意味を持っています。この事典は、「コミュニティ」という多義的な言葉について、歴史やグローバル化など6つの総論と、まちづくりや福祉、災害・復興など9つの各論の15章にわたって解説しています。

巻末にコミュニティ関連年表や都道府県・市町村別「コミュニティ・災害担当窓口」、事項索引、人名索引などが掲載されています。各項目は見開き2ページ程度でまとめられていて、参考資料もあります。地域に根付いた活動をしよとうというときに役立つ事典です。 (高橋)



## 春期休業中の長期貸し出しについて



以下の期間、冊数、返却日を変更します。

**2年生** 1月28日(月)～2月7日(木)

返却日は**2月8日(金)**までです。

\* 2月8日以降貸出を希望する場合はカウンターに申し出てください。

**1年生** 1月28日(月)～2月1日(金) 15冊

2月4日(月)以降 20冊

返却日は**4月5日(金)**までです。

\* 20冊以上必要な場合は、カウンターに申し出てください。

自分が何を借りたのか分からなくなったときは、リストを出力できますので確認に来てください。



## 図書館カレンダー



1						
日	月	火	水	木	金	土
		<u>1</u>	2	3	4	5
<u>6</u>	7	8	9	10	11	<u>12</u>
<u>13</u>	<u>14</u>	15	16	17	18	<u>19</u>
<u>20</u>	21	22	23	24	25	<u>26</u>
<u>27</u>	28	29	30	31		

2						
日	月	火	水	木	金	土
					1	<u>2</u>
<u>3</u>	4	5	6	7	8	<u>9</u>
<u>10</u>	<u>11</u>	12	13	14	15	<u>16</u>
<u>17</u>	18	19	20	21	22	<u>23</u>
24	25	26	27	28		



\_\_ :休館日

平日（月～金） 9:00～18:20

定期試験 2.6（水）・7（木）8:30～18:20、2.8（金）8:30～16:45

授業のない日 9:00～16:45 1.17（木）保育内容研究発表会・1.29（火）実習報告会  
2.12（火）～3.29（金）

オープンキャンパス 13:00～16:00 2.24（日）

\*休講等で変更がある場合は、その都度掲示でお知らせします。

### 実習中の返却日について

返却日が実習と重なる場合、実習明けでかまいません。

貸出の際、ひとこと声を掛けてください。



### 返し忘れの本はありませんか？

返却日が過ぎた図書が手元にありませんか？ わからない時はリストを出力できますので、カウンターまで確認に来てください。

また、図書館バックは返却の際、必ず戻してください。



### 後記

明けましておめでとうございます。

今月号は、選書ツアーやブックトークに参加した学生の皆さんからの原稿を中心に掲載しました。ツアーで選んだ本は、順次ポップと共に展示しますので、お気に入りを見つけてくださいね。

今年も図書館をご利用ください。

（高橋）